

事業活動報告

事業所名 デイセンターぽればれ

1.2016年度 事業所方針
<p><基本方針> 安心感と見通しのある毎日を人とのかかわりのなかで</p> <ol style="list-style-type: none">1 {市民として生きている} 実感を地域や社会、人とのつながりのなかでつくり、一人一人の豊かな人生を援助する実践を追求します2 ありのままの姿に寄り添い、安心して自分を出せる場所、ほっとできる居場所づくりをすすめます3 「学び」を意識し、共に学び語りあえる職員集団を目指します
2.利用者・職員状況について
<p>○利用者 定員 20名 ・契約者数 44名 (2017年3月末現在)</p> <p>・曜日別利用者数…(月) 16名 (火) 14名 (水) 14名 (木) 17名 (金) 13名 (土) 15~20名</p> <p>*2016年4月より1名新規利用(作業所併用 木、金利用)、2017年2月より1名新規利用(木)</p> <p>・併用利用先…かめおか作業所:12名 第二かめおか:10名 花ノ木医療福祉センター:5名 ワークスおーい:1名 あしたーる工房:1名 はるの里1名 支援センター圭1名</p> <p>○職員数 10名 正規3名 非正規7名 (センター長:1名 主任:1名 支援員:6名 看護師:1名 厨房1名)</p>
3.実践内容について
<p>日中活動:</p> <p>今年度も「わかる」「みえる」「実感できる」をどうつくっていくか、この視点やねらいをもって様々な活動や場面づくりにとりくんできました。またどの活動でも利用者の声をきき、思いを引き出す時間や場面、利用者自身も活動をつくる主人公になることを大切にしてきました。</p> <p>生活・健康:</p> <p>他事業所や医療機関、関係機関との連携のなかで、元気に安心して通い続けることのできる支援をするために、場合によってはひとりひとりの個別ニーズに対応して日々の支援を行ってきました。今年度支援学校を卒業した作業所との併用利用の利用者については、作業所での仕事を思いきりがんばるために、ぽればれでのゆったり身体をリラックスさせる時間を大切にとりくんできました。</p> <p>地域とのつながり:</p> <p>これまでのつながりを継続させてきました。利用者が企画や準備に関わり、地域のみなさんと楽しむ場をつくることは、「必要とされている」を、利用者や職員以外の人とのかかわりのなかで実感できる機会となっています。</p> <p>職員集団:</p> <p>入浴中の利用者の怪我を教訓にし、日々の業務について見直しや点検、職員集団での共有を強化することを課題としてきました。業務の振り返りシートを活用することを後半期の課題としていましたが、実施することができませんでした。「ヒヤリハット」を活用し、毎日の業務のなかで職員一人一人がさらに意識的にとりくむことができるようにしていきます。月1回の職員会議は、全員がそろって話すことのできる時間が限られるなか、議題整理など不十分な会議になることがありましたが、学習会では利用者のケースをもとに学習を継続することができました。</p>
4.成果と次年度への課題について
<ul style="list-style-type: none">・個別支援計画、ケース記録、ヒヤリハット等、記録の整備・入浴支援について ニーズの把握など

